

1. 評価結果概要表

作成日 平成 年 月 日

【評価実施概要】

| | | | |
|---------------|--|-------|------------|
| 事業所番号 | 3471503981 | | |
| 法人名 | 有限会社 楓 | | |
| 事業所名 | グループホーム 楓 | | |
| 所在地 (電話番号) | 〒720-2412 広島県福山市加茂町下加茂1251-7 (電話)084-972-5050 | | |
| 評価機関名 | (社)広島県シルバーサービス振興会 | | |
| 所在地 | 〒734-0007 広島市南区皆実町1-6-29 | | |
| 訪問調査日 | 平成19年10月15日 | 評価確定日 | 平成19年11月6日 |

【情報提供票より】(19年10月1日事業所記入)

(1)組織概要

| | | | |
|-------|------------|--------|------------------|
| 開設年月日 | 平成16年12月1日 | | |
| ユニット数 | 2ユニット | 利用定員数計 | 18人 |
| 職員数 | 16人 | 常勤 | 12人、非常勤4人、常勤換算14 |

(2)建物概要

| | | |
|------|--------|---------|
| 建物形態 | 単独 | 新築 |
| 建物構造 | 軽量鉄骨造り | |
| | 2階建ての | 1階～2階部分 |

(3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

| | | | | |
|---------------------|-----------------|----------------|-----|---|
| 家賃(平均月額) | 40,000円 | その他の経費(月額) | 実費 | |
| 敷金 | 無 | | | |
| 保証金の有無 (入居一時金含む) | 無 | 有りの場合 償却の有無 | 無 | |
| 食材料費 | 朝食 | 円 | 昼食 | 円 |
| | 夕食 | 円 | おやつ | 円 |
| | または1日当たり 1,100円 | | | |

(4)利用者の概要(10月1日現在)

| | | | | | |
|-------|----------|------|-----|----|-----|
| 利用者人数 | 18名 | 男性 | 1名 | 女性 | 17名 |
| 要介護1 | 5名 | 要介護2 | 3名 | | |
| 要介護3 | 5名 | 要介護4 | 3名 | | |
| 要介護5 | 2名 | 要支援2 | 0名 | | |
| 年齢 | 平均 84.5歳 | 最低 | 75歳 | 最高 | 93歳 |

(5)協力医療機関

| | |
|---------|---------------------|
| 協力医療機関名 | よしたかクリニック・森田内科クリニック |
|---------|---------------------|

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

グループホーム楓は、「安心して自由な”家”の想い」の理念の基で利用者の方を地域で暮らせるよう支えている。開所時から、利用者が地域の中で自分らしく暮らし続けるための支援の継続性を重視しており、その中で特に地域や自然の中で触れあいながら、地域の人々と行き来ができるように努められている。全職員は、常日頃から利用者の方々の暮らしにも全て愛情をもって接することに心がけて支援を行っている。ご家族の訪問やホームとのつながりも多く見られおり、また近隣には田園や中学校及び商業施設なども数多くあり生活環境にも恵まれている。これらにより、利用者の方々の安心した笑顔が印象的なホームと感じられた。

【重点項目への取り組み状況】

| | |
|------|--|
| 重点項目 | 前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4) 前回評価での主な改善課題は特にないが、更なる向上として全職員は常に現状を振り返りながら、また新たな目標も掲げこれにチャレンジしており、このことがサービスの質の向上につながるよう取り組んでいる。 |
| | 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 運営者、管理者、職員は、評価の意義とねらいについて話し合い取り組んでおり、改善に向けて具体案の検討や実践につなげるための努力をしている。 |
| 重点項目 | 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議は定期的に行なわれており、会議はホームの報告にとどまらず様々な意見・質疑応答等が活発に行われており、また地域からのアイデア等も取り入れながら運営に活かされている。これからは、今以上に幅広い立場の人達に理解と支援が得られるための会議となるように働きかけられることが期待される。 |
| 重点項目 | 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) ホームの運営については、会議録や機関紙”かえでだより”等で機会がある毎に家族に詳細に報告がなされている。また、家族からの様々な相談ごとや介護のあり方などの問題点についてはその都度話し合いを行いながら、このことを管理者・職員間でしっかりと討議して運営の健全化に取り組んでおり、更なるサービスの質の向上と信頼関係の構築を目指して取り組みに努めている。 |
| 重点項目 | 日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 日常的には散歩や買い物を通じて地域の方々に気軽に挨拶をするなどしながら、町内の様々な行事へも参加し、また近隣のグループホームと行き来したりしている。また、毎年秋に開催しているホームでの一番大きな催しである”かえで祭り”では、利用者を作る・売る・買う等の色々な場面で多くの人達に関わりを持つことにより、参加されている家族や近隣の人々と楽しみながら更なる連携を深められている。 |

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-----------------------|----|--|--|-----|--|
| . 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1. 理念と共有 | | | | | |
| 1 | 1 | 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | 運営基本理念は、「利用者、家族、及び地域との子々孫々のお付き合いを大切に」しながら、安心して愛され信頼されるホームを目指すことを具体的なイメージを持ってつくりあげられている。 | | |
| 2 | 2 | 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | 利用者が、自由に安心した生活が営めるように全職員は常日頃から理念についてミーティング等の際には必ず触れながら、具体的なケアについて意見の統一を図っている。 | | |
| 2. 地域との支えあい | | | | | |
| 3 | 5 | 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | 日常の散歩や買い物を通して顔馴染みを作っており、また地域の行事などに参加をしたりホームの行事に地域の方々を招待するなどして、積極的に地域との交流の輪を広げるよう取り組みがなされている。 | | |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | | |
| 4 | 7 | 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | 評価の意義は管理者、職員間でしっかりと共有されており、また自己評価や外部評価の結果についても全職員でミーティングなどで話し合いや検討を行いながらサービスの質の確保に活かす取り組みを行っている。 | | |
| 5 | 8 | 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 運営推進会議は、定期的に行われており地域にとけ込んだホームとしての位置付けが確保されている。また、会議の内容は家族に報告し、意見を得た上でサービスの向上に活かす取り組みを行っている。 | | サービス評価と運営推進会議を結びつける取り組みとして、参加者に年1回の評価の効果を高めるための取組として、改善経過のモニター役にもなっていただくなどの検討が望まれます。 |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------|----|---|---|-----|-----------------------------------|
| 6 | 9 | 市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる | 市の開催する学習会や連絡会などには積極的に参加したり、また市の窓口担当者とは事業所の情報やケアサービスの取り組みを折に触れて伝えるように努めている。 | | |
| 4. 理念を実践するための体制 | | | | | |
| 7 | 14 | 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている | 利用者の暮らしぶりを家族の訪問時には必ず報告し、また毎月の手紙や他に必要に応じては電話などで詳細に様子を知らせている。 | | |
| 8 | 15 | 運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 家族の意見や苦情等を聞く体制や雰囲気づくりは出来ており、家族等から出された意見等は会議等で要因を探り、課題を検討し、質の向上をめざす取り組みをしている。 | | |
| 9 | 18 | 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | 職員の異動による影響は最小限に抑えるために、平素より可能な限り各ユニットとの合同でレクリエーションやイベントなどを行うなどしながら、各ユニットの利用者及び職員間の顔馴染みの関係を築くよう常に工夫されている。 | | |
| 5. 人材の育成と支援 | | | | | |
| 10 | 19 | 職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 新入社員・現任社員は、法人内・外の研修は卒先して参加が時間が許す限り出来るように機会は確保されている。 | | |
| 11 | 20 | 同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 同業者との交流を近隣のグループホームと行いながら互いに励ましあい、サービスの質の向上を目指し努力されている。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------------|----|---|---|-----|----------------------------------|
| .安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | | | |
| 12 | 26 | 馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | 相談から利用に至るまで利用者の視点に立っての対応に努めながら、本人と家族の安心と納得を大切にされた支援を行っている。 | | |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | | |
| 13 | 27 | 本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている | 利用者の得意の分野で力を十分発揮してもらいお互い様という気持や感謝するという関係性を築きながら、また年長者である利用者から生活の技などを教えてもらう場面づくりや声かけをしている。 | | |
| .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 1. 一人ひとりの把握 | | | | | |
| 14 | 33 | 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 日常の暮らしの中で、利用者の希望や意向に添ったケアの実施に心がけ活動している。 | | |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | | |
| 15 | 36 | チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している | 利用者及び家族の意見・要望を優先し、またこれらを十分に反映しながら本人本位の介護計画を作成している。 | | |
| 16 | 37 | 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | 介護計画は、新たな要望や変化が見られない場合でも、常に新鮮な目で本人や家族の意向や状況を確認すると共に、変化の兆しに予防的に対応していくため介護計画の見直しを行っている。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|--|----|--|--|-----|----------------------------------|
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用) | | | | | |
| 17 | 39 | 事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | 本人や家族の状況に応じて、通院や送迎等に必要な支援には柔軟に対応し、個々の満足感を高めるようにしている。 | | |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働 | | | | | |
| 18 | 43 | かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | ホームの主治医や提携医への受診や看護師の派遣も行われており、また利用者や家族の希望に応じては適切に医療を受けられる支援がされており、健康管理などが気軽に相談できる体制も出来ている。 | | |
| 19 | 47 | 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 本人や家族の意向、本人にとってはどうあったら良いのか、事業所が対応しうる最大の支援方法を踏まえて、方針をチームで話しあっている。 | | |
| . その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | | | | | |
| (1) 一人ひとりの尊重 | | | | | |
| 20 | 50 | プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない | 言葉かけなどには、親しみの中にも礼節をモットーに持ちながら利用者個々の尊厳を守るための配慮で取り組んでいる。また、記録簿などの情報管理等についても秘密保持の徹底が図られている。 | | |
| 21 | 52 | 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 職員の都合を優先するのではなく利用者のペースに合わせ、また一人ひとりの心に寄り添った生活を考えた行動にするよう支援している。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------|----|--|--|-----|----------------------------------|
| (2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | | | |
| 22 | 54 | 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 食事は個々の好みを優先しており季節感のあるメニューを利用者と共に考え作り、食事時間もその人のペースに添って自由に食事を楽しむ配慮がされていた。 | | |
| 23 | 57 | 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | 利用者のこれまでの習慣や意向に沿って柔軟に対応している。 | | |
| (3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | | |
| 24 | 59 | 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 日常的な家事作業や趣味などは、一人ひとりの楽しみや役割を見つけて活力がでるように支援が行われている。 | | |
| 25 | 61 | 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | 日常の買い物は外出が可能な利用者と職員が交替で出かけたり、また気候や利用者の状況を勘案しながら時には、ドライブに出かけたりし、その場合は行き先を固定しないような配慮を心がけて支援を行っている。 | | |
| (4)安心と安全を支える支援 | | | | | |
| 26 | 66 | 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | 全ての職員は鍵をかけることの弊害を理解しており、このことによりホームの玄関・各ユニット入口・居室などには鍵をかけない見守りや連携プレーで支援を行っている。 | | |
| 27 | 71 | 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | 半年毎に利用者と共に避難訓練を行っているが、今後は運営推進会議などを通じて地域の協力が得られるよう呼びかけを検討していただきたい。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---------------------------|----|--|--|-----|-----------------------------------|
| (5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | | |
| 28 | 77 | 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 一日の利用者の嗜好・食事・水分は把握されており、職員が情報を共有している。 | | |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | | |
| (1)居心地のよい環境づくり | | | | | |
| 29 | 81 | 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 利用者や家族等の感想や気づきを常に聴き取りながら、五感刺激への配慮と居心地のよい空間づくりの工夫を行っている。 | | |
| 30 | 83 | 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 利用者や家族と相談して寝具や写真等は馴染みの品が持ち込まれ、出来る限りこれまで通りに本人が居心地よく過ごせるように配慮している。 | | |

介護サービス自己評価基準

認知症対応型共同生活介護

事業所名 グループホーム 楓 りんごユニット

評価年月日 19 年 9 月 1 日

記入年月日 19 年 9 月 1 日

記入者 職 ユニットリーダー 氏名 佐藤由紀子

| 番号 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組んでいきたい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----|----|---------------------------------|-------------------|---------------------------------|
|----|----|---------------------------------|-------------------|---------------------------------|

理念の基づく運営

1 理念の共有

| | | | | |
|---|--|---|--|--|
| 1 | 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている。 | 独自の理念を各ユニットの玄関に掲示しており 来客の方、スタッフ、入居者様誰にでも見える ようにしています。 | | 理念「入居者様とご家族、そして地域の皆 様との子々孫々のお付き合いを大切にしま す」を掲げています。 |
| 2 | 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取 組んでいる。 | 常に理念を念頭に入れ、意識し、業務を行って います。 | | 全てのケアは理念と照らし合わせて行って います。 |
| 3 | 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切に した理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組 んでいる。 | 家族会や運営推進会議において皆様に理解して いただけるよう取り組んでいます。 | | 地域の行事等には積極的に参加していま す。 |

2 地域との支えあい

| | | | | |
|---|---|--|--|---|
| 4 | 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気 軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよ うに努めている。 | 隣近所の方とお会いしたときは必ず挨拶しお声 をかけます。またそのことにより、ご近所の皆 様からもよくお声をかけて下さいます。 | | 催事やイベントなどにご招待したり、日常 的にお付き合いが出来るよう努めています し、お野菜などもよくいただきます。 |
| 5 | 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人 会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流すること に努めている。 | 地域の行事や、神社の祭り、子供会行事、溝掃 除などに積極的に参加しています。 | | 小学校、中学校などの文化祭などを通じ、 地元の方との交流を盛んに行っています。 |

| 番号 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組んでいき たい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------|---|---|-----------------------|--|
| 6 | 事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。 | 地域の方々からのご相談は随時受け付けています。 | | 地域の高齢の方をお招きする会を設けるなど、地域の方の暮らしに役立つ取り組みをして行きたいと思います。 |
| 3 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | |
| 7 | 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。 | 自己評価、外部評価で出来ていない点があればミーティングにて話し合い、具体的な改善に取り組んでいます。 | | 各ユニットに自己評価、外部評価をファイリングしており、スタッフ全員が常に確認できるようにしています。 |
| 8 | 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。 | 運営推進会議での意見や指摘事項などは、必ずミーティングで話し合いを行い具体策を検討しサービス向上に生かすようにしています。 | | 運営推進会議の内容は議事録を作成しスタッフ全員が確認できるようにしています。 |
| 9 | 市町との連携 事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。 | 運営推進会議以外にも、福山市の行う学習会や連絡会などにも積極的に参加し常に連絡を取り合いサービスの向上に取り組んでいます。 | | 福山市に頻繁に出入りし、市とともにサービスの向上に取り組めます。 |
| 10 | 権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。 | 外部研修にて学ぶ機会を持っています。必要な人には活用しています。ただし、職員全員の理解という点で不十分なところがあります。 | | ホーム長、ケアマネージャーによる社内での勉強会を行い個々のレベルアップを図ります。 |
| 11 | 虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。 | 虐待防止の研修に積極的に参加し、参加者はスタッフ全員に内容を整理しレポートにて回覧しています。またミーティングでの伝達講習をおこなっています。 | | 利用者様の意思を尊重しない行為も虐待と考え、そうならないようスタッフ一人ひとりが常に注意を払っています。 |

| 番号 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組んでいきたい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------|---|---|-------------------|--|
| 4 理念を実践するための体制 | | | | |
| 12 | 契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約する際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。 | 契約書、重要事項説明書の説明は書面と口頭で行い十分に説明しご理解をいただいている。 | | 疑問点や不安点をお聞きするようにし、具体的な事例などを挙げご家族やご本人様が話しやすい配慮をしています。 |
| 13 | 運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらの運営に反映させている。 | 玄関ホールに意見箱を設置している。また直接スタッフが意見や不満、苦情を聞いた場合もミーティングで話し合いを行います。又運営推進会議にて不満、苦情内容を公表しています。 | | 利用者様、ご家族からの意見、不満、苦情はミーティングやカンファレンスにてスタッフ全員に周知し解決策を徹底しています。 |
| 14 | 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている。 | 毎月必ず担当者がご家族にお手紙を書き、又楓だよりと合わせ、一ヶ月の暮らしぶりをお伝えしています。 | | 職員の異動はお手紙でお知らせし、金銭管理やその他詳細な部分はご家族がホームに来られたときご説明しています。 |
| 15 | 運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。 | 年一回の家族会総会や運営推進会議にて不満やご意見を話し合えるよう機会を作っています。その内容はレポート回覧やミーティングにて運営に活かせるようにしています。 | | ご家族からのご意見はミーティングや会議議事録にて周知徹底しサービス向上に努めています。 |
| 16 | 運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。 | 職員の意見を聞く機会が多く設けてあり、意見や提案は各リーダーを通しその都度話し合いにて問題解決を図っています。 | | 月一度のミーティング、年二回の個別面談にてスタッフとの話し合いの場を設けている。 |
| 17 | 柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている。 | 状況の変化に対応するため、常に必要な人員確保に努めるとともに、勤務時間の変更等の話し合いが常時できるよう努めている。 | | 特に緊急時などは全員で勤務調整が出来るようスタッフに周知している。 |

| 番号 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組んでいき たい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|--|--|--|-----------------------|---|
| 18 | 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。 | 常に全職員が馴染みの関係となるよう、ユニットを越えたレクリエーションやイベントを行うとともに異動は必要最小限にとどめている。 | | 全員が18名を十分に理解するよう情報交換に努めている。 |
| 5 人材の育成と支援 | | | | |
| 19 | 職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。 | 社内の指導育成とは別に社外の研修や実習にも積極的に参加している。 | | 研修、勉強会に段階に応じて参加し、参加者はミーティングにて内容を全スタッフに伝えるようにしている。 |
| 20 | 同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。 | 地域のネットワークに参加したり、他のホームに出向いていって必要な技術は取り入れてサービス向上に取り組んでいる | | 他ホームでの研修などは全社員が行けるよう班編制を数回に分けて行っています。 |
| 21 | 職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。 | ストレス軽減の為に食事会や慰安のためのイベントなど定期的に行っています。 | | 十分な休憩室の確保や設備など充実させていきたいとかがえています |
| 22 | 向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている。 | 年二回個別面談を行うことにより、各人の目標を設定し向上心をもって働けるように努めている。 | | 6ヶ月毎の啓発目標の設定と、前6ヶ月の反省を行なっている。 |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">安心と信頼に向けた関係づくりと支援</div> | | | | |
| 1 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | | |
| 23 | 初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている。 | 何度も事前に面接を行い不安な事やニーズを話せる機会を設けています。また受けとめるためスタッフ全員でその情報を共有化します。 | | 不安に思われていることはこちらからも問いかけるようにし、安心していただいています。 |

| 番号 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組んでいきたい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|--------------------------|--|---|-------------------|--|
| 24 | 初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。 | 事前の面接ではご家族とのお話しの機会も多く設け、困っていることや求めていることよく聴きます。 | | ご家族を何度も訪問しますし、またご家族もホームに何度も来ていただきます。 |
| 25 | 初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。 | ケアマネジャーと連携し、ご本人にとって一番必要なサービスを見極め対応しています。 | | ケアマネジャーと相談し、ご本人にもっとも適したサービスを提供すべく他のサービスも視野に入れ柔軟に対応しています。 |
| 26 | 馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気になら馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。 | ご本人は勿論のことご家族、ケアマネージャースタッフで十分に相談し、工夫し、対応しています。 | | アセスメント、カンファレンスなどで、ご本人が徐々に馴染めるよう工夫しています。 |
| 2 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | |
| 27 | 本人を共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている | 職員は「人生の大先輩」である利用者様に敬意をもって接し、出来ることはして頂くことにより学ぶことも沢山あります。 | | 様々な場面で利用者様が主人公という気持ちをもって「昔とったきねづか」などに注目し、職員が教えを乞う機会を多く設けるようにしています。 |
| 28 | 本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。 | 利用者様の状態の変化など、ご家族も交え支援の方法などを話し合っています。可能な限り協力して頂いています。 | | イベントなどにご家族をお呼びする機会を多く設け、職員、ご家族、ご本人が喜怒哀楽を共にしよい関係を築けています。 |
| 29 | 本人を家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している。 | これまで知りえた情報なども考慮しご本人の意見、ご家族の意見を踏まえより良い関係を築けるよう支援しています。 | | ホームにあまり来られない遠方のご家族には、月一回のお手紙とは別に電話などの連絡を密にしています。 |

| 番号 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組んでいき たい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---------------------------------|--|--|-----------------------|---|
| 30 | 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。 | ご本人が大切にしてきた関係が途切れないようにケアしています。 | | お気に入りの場所や思い出深い土地に出向いたりしながらご家族との連携を図り、なじみの関わりを大切にしています。 |
| 31 | 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。 | 利用者様同士の衝突がある事もありますが、職員が間の入り利用者様同士の関係を良くするよう努めています。 | | 一人の利用者様のニーズを気にし、他の人のニーズへの対応が不十分になることがあるのでバランスの取れた対応が出来るよう努めています。 |
| 32 | 関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。 | サービスが修了した方であっても楓にご縁があった方とは「子々孫々」のお付き合いをこころがけています。 | | お困りの際にはご連絡頂くようお声をかけていますし、「楓だより」のお届けも毎月続けています。サービス終了後、ホームに遊びに来られる方もいらっしゃいます。 |
| その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | |
| 1 一人ひとりの把握 | | | | |
| 33 | 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。 | 常に一人ひとりの思いと照らし合わせたケアに心がけています。 | | 入念なカンファレンスとご家族とのご相談でご本人の意向を最大限に反映できるよう努めています。 |
| 34 | これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。 | 入居前にかなり入念にお聞きしますが、入居後もご家族にお聞きするなどし、暮らしの把握に努めています。 | | 生活暦、馴染みの暮らし方などに着目し、より近づいた生活が出来るようにカンファレンスでしっかり話し合い実践しています。 |
| 35 | 暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。 | 暮らしの現状をアセスメントシートなどを用い、総合的に把握しています。 | | 暮らしの状況等変化があればご家族との相談、緊急ミーティングなどでその都度、現状把握、対応に努めています。 |

| 番号 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組んでいきたい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------------------|---|--|-------------------|--|
| 2 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | |
| 36 | チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。 | 計画作成の際にはご家族の意見や、ご本人の要望などをしっかりと話し合い、計画を作成しています。 | | 作成の際、ご家族、ご本人の意見を反映しホーム長、ケアマネージャー、ユニットリーダー、スタッフを交え十分な話し合いの上で計画を作成しています。 |
| 37 | 状況に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。 | 見直し以前に対応できない変化が生じた場合は必ず、ご家族を交え話し合い、新たな計画を作成しています。 | | ご家族を交えての話し合いや、緊急カンファレンスで話し合い、現状に即した新しい計画を作成しています。 |
| 38 | 個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。 | 日々の様子は介護記録に記入し、気づきや特記事項などは「赤」で記入し人目でわかるように見直しに活かしています。 | | 介護記録のほかにスタッフ間の連絡ノートを作り、ケアの工夫、気づきなどを記入し見直しに活かしています。 |
| 3 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | | |
| 39 | 事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。 | 出来る限りご要望をかなえるため柔軟な支援に心がけています。 | | 事業所の多機能性を最大限活かし、毎日のお出かけや、里帰り、趣味の時間、小旅行のお手伝いなどご家族との相談のうえ柔軟な対応をしています。 |
| 4 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | | |
| 40 | 地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。 | 地域の方々にご協力いただきながら支援しています。 | | 地元、小中学校、消防署、民生委員さん、町内会の方々、ボランティアさんなど多くの方々よりご協力いただき支援しています。 |

| 番号 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組んでいき たい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----|--|---|-----------------------|---|
| 41 | 他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている。 | 地域包括支援センターや他の事業所と話し合いながら、他のサービスも視野に入れた支援をおこなっています。 | | 他事業所のケアマネージャーや相談員さんなどにご協力いただきながら必要性に応じたサービスを利用した支援に心がけています。 |
| 42 | 地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。 | 地域包括支援センターと常に連携し長期的な視野でケアマネジメント等をおこなっています。 | | ご本人の意向やご家族の意向によって、地域包括支援センターと連携をとって支援しています。 |
| 43 | かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるよう支援している。 | ご本人及びご家族の希望によりかかりつけ医を決めて頂き、往診時の対応等適切な医療を受けられるよう支援しています。 | | ご本人やご家族の意向により、かかりつけ医の受診、往診、服薬介助など適切な医療を支援します。 |
| 44 | 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。 | 認知症に詳しい医師との関係を築いていますので認知症に関する適切な治療が受けられるよう支援しています。 | | 認知症に詳しい医師との相互の情報提供により適切な治療が受けられます。 |
| 45 | 看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。 | 自事業所内の看護職員と常に相談しながら、健康管理や医療活用の支援を行っています。 | | 自事業所内に看護職員が4名居ますので常時相談できる体制が整っています。 |
| 46 | 早期退院に向けた医療機関と協働 利用者が入院したときに安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。 | 入院時は常に医療機関と情報交換することは勿論のこと、早期退院のための相談に努めています。 | | ご家族も交え医療機関と治療方針や入院期間について細かく話し合いを行っています。 |

| 番号 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組んでいき たい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|--|---|---|-----------------------|--|
| 47 | <p>重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い全員で方針を共有している。</p> | <p>ご家族、かかりつけ医と日常的に重度化や終末期の方針の話し合いをしています。</p> | | <p>早い段階でご家族、かかりつけ医、ホーム長、リーダー等で方針の話し合いを行っています。職員全員がその情報を共有できるようミーティングを行っています。</p> |
| 48 | <p>重度化や週末期に向けたチームでの支援 重度や週末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。</p> | <p>そういう事態のときは常に、ご家族、かかりつけ医との連絡を密にし、変化に備えた準備をおこなっています。</p> | | <p>職員間でのミーティングも密に行い、事前に検討した「できること・できないこと」を何度もチームで話し合いを行っています</p> |
| 49 | <p>住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに勤めている。</p> | <p>住み替えの時は事前に十分な情報を収集し、環境を変えない工夫をし、ご本人の負担にならないよう努めています。</p> | | <p>十分な情報に基づき、部屋のレイアウトや人間関係などに気を配ります。</p> |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 </div> <p>1 その人らしい暮らしの支援 (1) 一人ひとりの尊重</p> | | | | |
| 50 | <p>プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない。</p> | <p>声かけ対応には常に敬意を払うようスタッフ同士気を付けています。記録等の取り扱いも個人情報の漏洩には特に気を使っています。</p> | | <p>常に「人生の先輩」ということを念頭においた声かけや対応を全スタッフ心がけています。個人情報については漏洩しない旨の誓約書の提出を義務付け、また記録等処分時は必ずシュレッダーを使用します。</p> |
| 51 | <p>利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。</p> | <p>ご本人の思いを気軽に言ってもらえるよう働きかけをしています。</p> | | <p>ご本人から「何をしたいか」「どうしたいのか」を言って頂けるよう働きかけますし、その方に合わせた対応により自分で決めたり、納得して下さるよう支援しています。</p> |

| 番号 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組んでいきたい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------------------|--|---|-------------------|---|
| 52 | 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。 | 常に個々のペースに合わせたケアを心がけています。こちらのペースにならないようスタッフ同士声を掛け合い気をつけています。 | | 職員側のペースではなく、「したい」時にする、「食べたい」時に食べる。「入浴したい」時にするというペースを大切にしています。 |
| (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | | |
| 53 | 身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。 | いつまでも女らしく、男らしく、その人らしく身だしなみやお洒落を楽しんで頂けるよう努めています。 | | ご本人の希望や行きつけのお店や理容院、美容院にお連れしています。 |
| 54 | 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。 | 食事は個々の好みを考えています。いつも利用者様と一緒に準備や炊事、食事や片付けを行っています。 | | 個々の好みを考え、和食ばかりではなく、洋食、中華もお出ししています。苦手な方は別メニューに変えるなど工夫しています。 |
| 55 | 本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。 | お酒、タバコ、おやつなど特に支障の無い方、医師やご家族と相談をしながら、一人ひとり個別の対応で楽しんで頂いています。 | | 糖尿などで食事制限のある方には細心の注意を払い、可能な範囲で嗜好の支援に努めています。 |
| 56 | 気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。 | 一人ひとりに合わせた排泄の支援に心がけています。 | | お一人でトイレに行くのが難しい方は排泄パターンを考え定期的な声かけ、誘導を行っています。 |
| 57 | 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。 | 一人ひとりの入りたいタイミングに合わせた支援を行っています。 | | 毎日入られない方のみ、曜日を一応きめていますが、毎日お声をかけてできるだけ毎日入って頂くように努めています。時間は自由に入っています。 |

| 番号 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組んでいきたい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------------------|---|---|-------------------|---|
| 58 | 安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。 | 一人ひとりのペース、スタイルに合わせて安心して休んで頂けるよう支援しています。 | | 電気を消すと安心して眠れない方、牛乳を飲むと安心して眠れる方など、個々に合わせて支援しています。 |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | |
| 59 | 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々の過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。 | 行事、レクリエーション、誕生日会など楽しんで頂けるイベントや、個々に合わせた日常生活での役割(掃除、植木の手入れ、ゴミ出し、洗濯など)もそれぞれ行えるよう支援しています。 | | 行事、レクリエーションのなかでも誕生日会はその人にとってスペシャルな一日を提供するよう心がけています。個々の生活歴、力に応じた役割を皆さん担っていただけるよう支援しています。 |
| 60 | お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。 | お金の所有が可能な方にはお財布を持って頂き、日常のお買い物や外出時のショッピングが出来るよう支援しています。 | | 日常のお買い物や、お出かけのときのショッピングを楽しんで頂けるよう支援しています。各種移動販売の業者にも協力いただきできるだけ多くの人に楽しんで頂けるようしています。 |
| 61 | 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。 | お散歩、お出かけ、ドライブ等日常的に積極的に行っています。 | | 行きたい場所を聞いたり、「花が見たい」「海が見たい」というご要望にも出来るだけお答えするよう努めています。 |
| 62 | 普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり支援している。 | 行事やイベントには皆でお出かけしています。 | | 初詣、花見、祭り、イベントなどご家族も一緒に出かけられるような機会をつくっています。 |
| 63 | 電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自ら電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。 | お手紙、電話、ファックスなどご家族とのやり取りが出来るよう支援しています。 | | お手紙、特に年賀状などは書いて頂いています。「声が聞きたい」と言われるときは電話をするようすすめています。 |

| 番号 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組んでいき たい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------|--|---|-----------------------|---|
| 64 | <p>家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。</p> | <p>ご家族以外の方、誰でもお気軽に訪問して頂いています。</p> | | <p>ご家族の方に誰でもお気軽にお越しいただけることをお伝えしています。こられた方にもそのようにお伝えしています。</p> |
| (4) 安心と安全を支える支援 | | | | |
| 65 | <p>身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p> | <p>利用者様本意のサービスを心がけておりますので身体拘束をしないケアをしています。</p> | | <p>身体拘束は勿論のこと、「やりたいことができない」「好きな時にできない」ことも拘束と考えてケアをしています。</p> |
| 66 | <p>鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。</p> | <p>夜間帯、深夜を除き玄関の鍵をかけることはありません。ユニットの入口も同様です。このことはスタッフ全員理解しています。</p> | | <p>玄関の鍵をかけないリスクもスタッフ全員十分に理解しています。</p> |
| 67 | <p>利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。</p> | <p>昼夜通して全スタッフ常に利用者様の全員の所在、様子を把握するよう努めています。</p> | | <p>常にスタッフ同士で声を掛け合い、アイコンタクトでプライバシーと安全に配慮しています。</p> |
| 68 | <p>注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。</p> | <p>状況や、利用者様の状態に応じての危険防止に努めています。</p> | | <p>一律に排除するのではなく誤嚥し易い物、洗剤類、薬品、刃物類など、状況によって対応しています。</p> |
| 69 | <p>事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。</p> | <p>一人ひとりの状態に応じ事故防止に取り組んでいます。</p> | | <p>徹底したアセスメントとカンファレンスによる対応策の検討と、日常的に看護職員等との相談により事故防止の為のケアを行っています。</p> |

| 番号 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組んでいき たい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------|--|--|-----------------------|--|
| 70 | 急変や事故発生への備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的にしている。 | 応急手当、初期対応の訓練の機会を設けています | | 応急手当、初期対応の訓練を定期的に行い、訓練内容をファイルしいつでも見れるようにしています。 |
| 71 | 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身に付け、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。 | 避難訓練を定期的に行っています | | 日頃より地域の人々との関わりを大切にしており協力を得られるよう働きかけをしています。 |
| 72 | リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている。 | ご家族との話し合いを何度も行い、対応策を話し合っています。 | | リスクについてご家族と話し合っ利用者様の気持ちを大切にしたい対応策を一緒に考えています。 |
| (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | |
| 73 | 体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。 | 体調の変化には十分注意を払い、気づいたらその日の勤務者、ユニットリーダー、ホーム長で相談の上対応しています。 | | 体調の変化に気づいたら先ずその日の勤務者で相談。看護職員も交えリーダー、ホーム長とも情報を共有し対応しています。 |
| 74 | 服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。 | お薬の管理は医師、薬剤師と連携をとりつつ、又スタッフ全員が目的を理解するために薬の説明を個人ファイルにとじています。 | | 薬を処方されたとき担当スタッフが受けた説明を介護記録に詳しく記載。全員でその情報を共有化しています。 |
| 75 | 便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる。 | 排便、水分摂取量などは表にてチェックしています。必要に応じて便秘薬、下剤なども使います。 | | レクレーション以外にも体を動かして頂きますし、普段からヨーグルトなどの乳製品、野菜、水分等の摂取に気をつけています。 |

| 番号 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組んでいきたい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---|--|---|-------------------|--|
| 76 | 口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。 | ご自分で出来ない方は声かけをし、支援しています。自分で出来る方でも声かけにより食後のケアを誘導しています。 | | 訪問歯科を利用しています。口腔ケア、治療、歯磨きの指導などしていただいています。また、ケアのためのスタッフ指導もして頂いています。 |
| 77 | 栄養摂取や水分確保の支援 食べれる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。 | 一人ひとりの状態や今までの習慣に応じた支援をおこなっています。 | | 水分量、食事量は表によりチェックしています。水分不足にならないよう常に声かけをし、ヨーグルト、バナナや果物、スポーツドリンクなどを常備しており状況に応じ対応しています。 |
| 78 | 感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している。(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等) | 感染症に対する研修には積極的に参加しその情報を共有しています。また手洗い、うがいを常に励行。 | | 必ず使い捨て手袋を使用し、一回毎に破棄します。またインフルエンザの予防注射は必ず全員行います。 |
| 79 | 食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。 | 常に安全には細心の注意を払い、食器は食器乾燥機で乾燥させます。肉、魚など生鮮食料品は食材ごとに包丁を洗いまな板は別々にしています。 | | 常に新鮮な食材を使用するために毎日買い物をしています。 |
| 2 その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1) 居心地のよい環境づくり | | | | |
| 80 | 安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りが出来るように、玄関や建物周囲の工夫をしている。 | 玄関は全体がスロープになっていて、手すりがある。建物周囲や玄関周りに季節のお花を飾って安心して出入りできるよう工夫しています。 | | 置物やお花を飾り、親しみやすく楽しい雰囲気になるよう工夫しています。毎日利用者様が水遣りと掃除をしてくださっています。 |

| 番号 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組んでいきたい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------------|---|--|-------------------|---|
| 81 | 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。 | 飾り物をこまめに換え、季節感を採り入れたり、居心地よく過ごせる工夫をしています。 | | クリスマスや七夕などのディスプレイやお花を飾ったり、ゆず湯、菖蒲湯など季節感を大切に、居心地よく過ごして頂けるよう工夫しています。 |
| 82 | 共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共有空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。 | 思い思いの場所で過ごして頂けるよう居場所の工夫をしています。 | | リビングのソファ、和室、ウッドデッキなど思い思いの場所で過ごして頂けます。 |
| 83 | 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。 | ご本人の使い慣れた家具や道具を持ち込んで頂いています。ご家族にも色んなものを持ってきて頂くようお願いしています。 | | ベッド、タンス、仏壇、アルバム、ちゃんちゃんこなど身の回りのものは出来るだけ使い慣れたものを持ってきて頂くようにご家族にお願いしています。 |
| 84 | 換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。 | 換気には十分配慮し気を使っています。湿度、温度は状況に応じ細かくコントロールしています。 | | 常に利用者様の表情や、ご様子を見ながら、空調をしています。またできるだけ外気との差がないよう気をつけています。 |
| (2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり | | | | |
| 85 | 身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。 | 安全で自立できる環境づくりに努めています。 | | 完全バリアフリーで手すりを設けています。またテーブルなどもその方にあつたものをご用意いただくようご家族にお願いすることもあります。 |
| 86 | わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。 | 文字や絵を用い出来る限りわかる力を活かし自立してらせるよう工夫しています。 | | トイレやお部屋の表示に名前を書いたりしています。混乱を防ぐようスタッフが関わることもあります。 |

| 番号 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組んでいきたい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----|---|---------------------------------|-------------------|--|
| 87 | 建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。 | ウッドデッキや庭を活用しています。 | | 草取りやお花のお手入れが好きな方は庭を利用し、ガーデニングを楽しんでおられます。 |